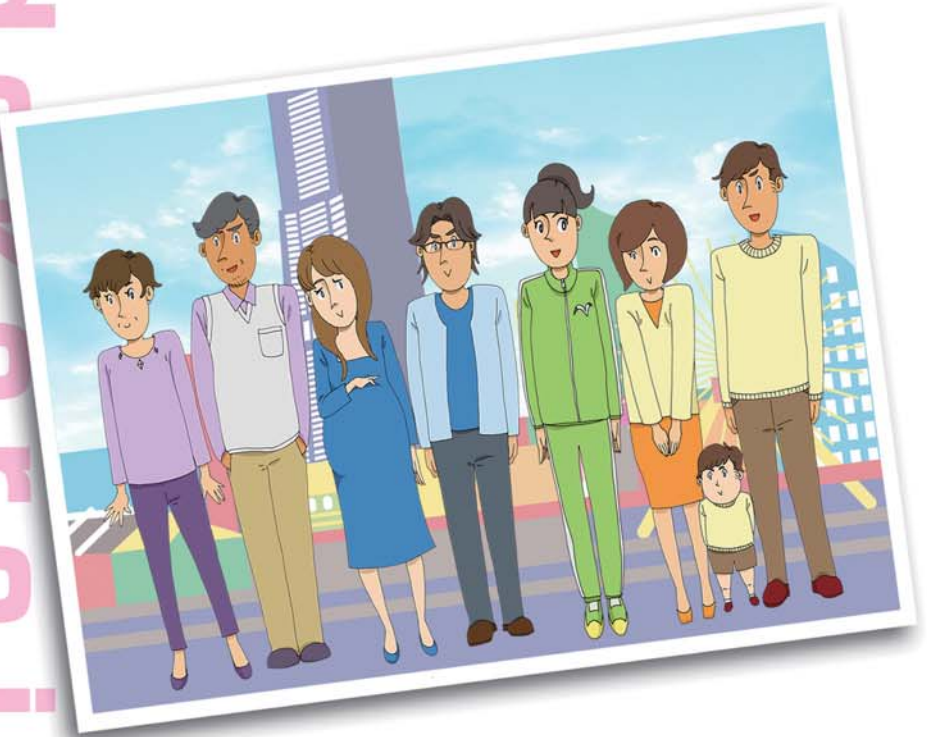


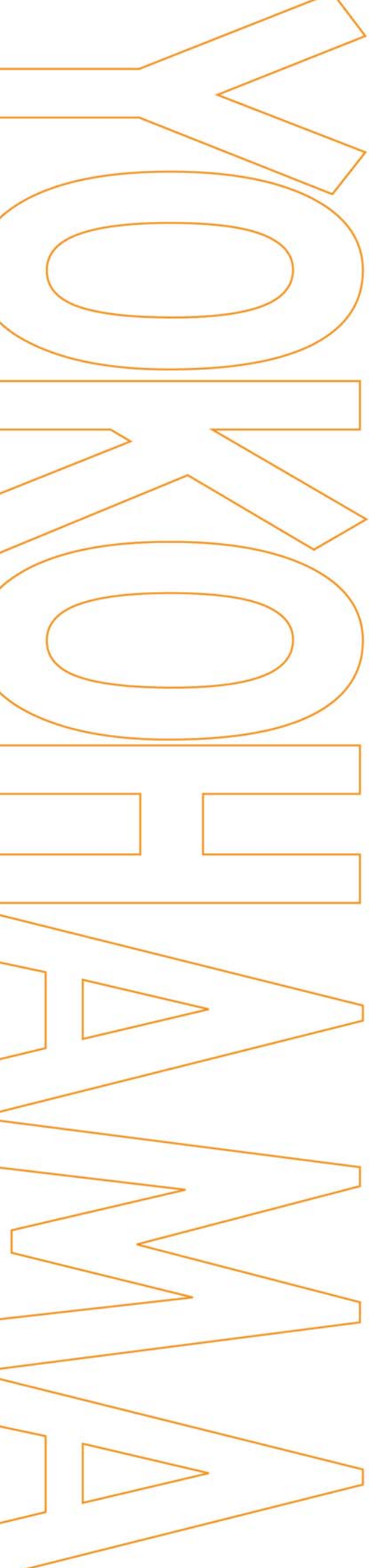
ハマの 台所事情

横浜の家計簿

横浜は現場主義！生活主義！元気主義！
～安心と活力をともに生み出す～



hamano-daijokorojiyo





① 保育所の運営にたくさんお金がかかるってホント？



教えて！ 森さん



目次

- 1 保育所の運営にたくさんお金がかかるってホント？
- 2 横浜市の予算を家計簿にしてみると…
- 3 横浜市はどんな事業に力を入れていくの？

横浜市にある認可保育所の数

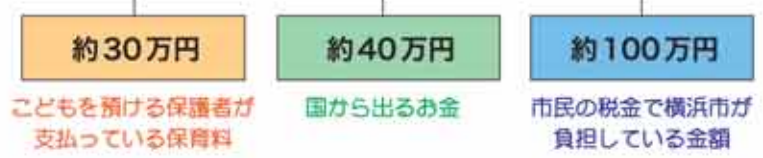
437 か所

(H22.4.1現在)
入所児童数約 39,000 人

保育所で子ども 1 人を 1 年間
預かるのにかかる費用

約 170 万円

保育所の運営に関わる職員人件費を含む



横浜市●●区▲▲町



横浜市●●区▲▲町のみなさん

- 【森家】 ものしり森さん
- 【橘家】 30 歳代の夫婦、3 歳の息子の 3 人暮らし
- 【椿家】 50 歳代の夫婦の 2 人暮らし (21 歳の娘、19 歳の息子は地方の大学に進学)
- 【柳家】 30 歳代の夫婦、夫の 70 歳代の両親の 4 人暮らし



ものしり森さん 橘家 椿家 柳家

横浜市は最優先の課題として、子育て支援の充実に向けて取り組めます！

お金がたくさんかかっているのは、わかったわ。でも保育所とか子育てが安心してできる環境は必要よね。



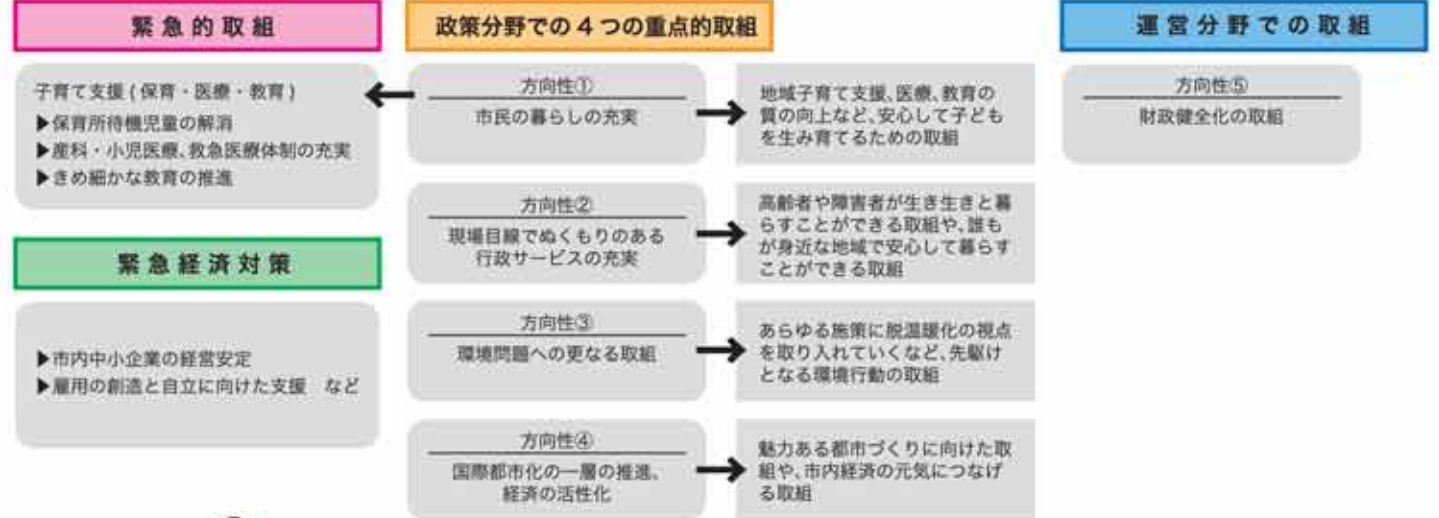
③ 横浜市はどんな事業に力を入れていくの？



② 横浜市の予算を家計簿にしてみると…



22年度における施策事業の展開



22年度予算では、厳しい状況にあっても、市民の暮らしの充実のため、**緊急的に取り組む必要のある『子育て支援』**を最優先で行います。また、**政策分野での4つの重点的取組**、**運営分野で財政健全化の取組**をすすめます。さらに『**緊急経済対策**』も充実を図ります。

- 横浜市の予算額を20万分の1にした年間の家計簿をつくってみました。
- 収入（歳入）は、景気悪化の影響で基本給（市税）やパート収入（諸収入等）が下がりました。
- 今の生活を最低限維持するのに必要な日用品費や家賃など（行政運営費）を確保するために、銀行からの借入（市債）を少しだけ増やしました。
- 支出（歳出）は、食費（人件費）を切りつめたものの、医療費など（扶助費）が大幅に増えました。
- ローン返済（公債費）は削ることができないので、光熱水費や家具の買い替えなど（行政運営費・施設等整備費）を節約しました。



(単位:万円)

収入	22年度①	21年度②	増減①-②	支出	22年度①	21年度②	増減①-②
給与	514	501	13	食費(人件費)	101	105	△4
基本給(市税)	343	363	△20	医療費・保育料など(扶助費)	174	136	38
諸手当(地方課外税、前払交付金、地方交付税、国・県支出金など)	171	138	33	ローン返済(公債費)	94	94	0
パート収入・貯金の取崩しなど(使用料・手数料、諸収入、繰入金など)	102	128	△26	光熱水費・日用品費・家賃・教育費など(行政運営費)	136	152	△16
銀行からの借入(市債)	64	57	7	車の購入・家具や電化製品の買い替えなど(施設等整備費)	83	102	△19
合計	680	686	△6	子どもへの仕送り(繰出金)	92	97	△5
				合計	680	686	△6



③ 横浜市はどんな事業に力を入れていくの？

4つめは「国際都市の一層の推進、経済の活性化」

羽田空港の国際化や APEC 横浜開催を機に、地域資源を生かした観光政策や、国際コンベンション機能をさらに高めることで、次の大型国際コンベンションの誘致を進め、市内経済の活性化につなげていきます。また、経済活動の主役である市内事業者が、生き生きと活躍できるように環境整備を行います。市内中小企業や商店街に対する緊急経済対策、独自の技術や地域性を生かした多様な活性化策を進めていきます。



横浜港のハブポート化の推進【58億3800万円】

先進的な港湾施設整備や京浜三港の連携など、国際競争力の強化施策を展開し、ハブポート化を推進します。
港湾局企画調整課 ☎671-7301・港湾経営課 ☎671-7261

APEC 横浜開催推進事業【5億9800万円】

11月に開催される APEC(アジア太平洋経済協力)首脳会議等の開催を支援します。
APEC・創造都市事業本部 APEC 開催推進課 ☎414-1155

そして最後の運営分野での取組として、「財政健全化の取組」

詳しくは各ページをご覧ください

- ◆施策と財政規律のバランスを考えた市債発行額の決定 ⇒ 5 ページ
- ◆借金返済のための実質的な将来負担は抑制 ⇒ 9 ページ
- ◆市内経済を守り、暮らしを良くするために基金を活用 ⇒ 5 ページ
- ◆事業見直し ～全体で950件、122億円の縮減を実現～ ⇒ 5 ページ



END



③ 横浜市はどんな事業に力を入れていくの？

まず1つめは「市民の暮らしの充実」

安心して子育てができるまち・横浜を目指して、福祉・医療・教育などの横断的な取組により、すべての子育て家庭を支援します。また、学校教育の質の向上を図るとともに、子どもを取り巻く良好な生活環境づくりを進めます。



二次救急拠点病院事業【2億円】

24時間365日対応する二次救急拠点病院を新たに位置づけ、医師を配置するための経費を助成します。
健康福祉局医療政策課 ☎671-2438

地域子育て支援拠点の設置【8億4800万円】

親子の居場所や子育て関連情報の提供、相談、子育て支援のネットワークづくりや人材育成を行う子育て支援の総合的な拠点を各区に1か所設置します。
こども青少年局子育て支援課 ☎671-4157

保育所整備【18億9100万円】

保育所の新設及び増築により定員枠を1,367人拡大します。
こども青少年局保育所整備課 ☎671-2376

横浜保育室の運営【52億9300万円】

基準を満たす施設を横浜保育室と認定し、保育水準の確保等に必要経費を助成するとともに、所得に応じた保育料の軽減助成を実施することで利用しやすくします。
こども青少年局保育運営課 ☎671-2365

放課後児童育成推進【43億9100万円】

「放課後キッズクラブ」、「はまっ子ふれあいスクール」、「放課後児童クラブ」を実施し、子どもたちの安全で快適な放課後の居場所づくりを推進します。
こども青少年局放課後児童育成課 ☎671-4068・4152・4153

2つめは「現場目線でめくもりのある行政サービスの充実」

福祉施策など生活基盤の安定と自立の支援、健康で安全な暮らしの確保、危機管理施策の充実強化を推進します。市民一人ひとりが地域で生き生きと暮らしていくためには、参加と協働の視点で地域運営を行う地域自治を進めます。



特別養護老人ホームの整備【35億9000万円】

入所の必要性・緊急性が高い高齢者が、申込みから概ね1年以内に入所可能となるように整備を促進します。
健康福祉局高齢施設課 ☎671-3620

将来にわたるあんしん施策【19億100万円】

障害のある人が地域で安心して暮らし続けることができるよう、きめ細かな取組をすすめます。
健康福祉局障害企画課 ☎671-3569

3つめは「環境問題への更なる取組」

環境モデル都市として、脱温暖化、G30の発展的取組、水と緑の保全創造など、環境への負荷がより少ない都市、生物多様性に配慮した都市を目指します。



横浜みどりアップ計画の推進【94億1500万円】

「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承していくため、「樹林地を守る」「農地を守る」「緑をつくる」の3つの柱で施策を展開していきます。
環境創造局みどりアップ推進課 ☎671-2811

地球温暖化対策の推進【15億8800万円】

あらゆる施策に脱温暖化の視点を取り入れながら、「仕組み」「エネルギー」「市民力」の3つの柱で脱温暖化を加速します。
地球温暖化対策事業本部地球温暖化対策課 ☎671-4108